

2015年12月2日

独立行政法人日本スポーツ振興センター
理事長 大東 和美 様

公益社団法人 日本建築家協会
会長 芦原 太郎



要望書

新国立競技場公募型プロポーザルに関して、10月6日の第4回審査委員会で示された、審査に入る前の「技術提案書」公表の方針を歓迎いたします。応募が締め切られた後の情報開示について、以下の要望を致します。

記

1. 提出された応募案を速やかに公開し、応募案設計者による提案内容の説明会を公開で行うことを要望します。
2. 今後、設計・建設工事が進む中、審査委員を含む建築設計専門家を入れたデザインアドバイス機構の設置を要望します。

実施案選定後の無用な混乱を避けるためには、国民から正しく理解を得る必要があります。

応募案を速やかに公開し、専門家や市民代表が参加する場で応募案設計者が計画内容を説明することにより、多様な意見に耳を傾けることができ、国民の不安を取り除くことができます。

実施案を選定する審査委員を含めた建築設計専門家をメンバーに入れたデザインアドバイス機構の設置は、国民への情報開示に有効だと考えています。

これらの実施にあたり、建築設計者団体として全面的な支援と協力をさせていただき所存です。

以上